

KPT

KPTとは、行ってきた活動を振り返る際に、「継続」「問題点」「挑戦」の3つの視点で整理するフレームワークのこと。話し合いの中で、ホワイトボードなどに「K:keep=今後も続けること」「P:Problem=問題なので、やめること」「T:try=今後、試してみたいこと」の項目を用意し、行ってきた活動報告の内容を「K」と「P」に振り分けていく。その後、「P」に対する解決策や新しいアイデアや企画を「T」欄に書いていく。行事や活動などの振り返りを行う場面に使うことができる。

※情報マネジメント用語辞典 参照

KPT

Keep

今後も続けること

Problem

問題なのでやめること

Try

今後、試してみたいこと

【使い方】

- ①何の行事、活動について振り返るか考える。
- ②ホワイトボードなどに、「K」「P」「T」の項目を用意する。
- ③行事、活動についての活動報告を付箋に記入する。行った活動1つについて、1枚の付箋に記入する。
- ④付箋に記入したものを「K=今後も続けること」「P=問題なので、やめること」に振り分け、交流する。
- ⑤「P=問題なので、やめること」に対する解決策や新しいアイデアや企画を「T=今後、試してみたいこと」の欄に記入する。
- ⑥まとまったKPTの表を見て、今後どのようにしていけばよいのかを話し合う。

KPT 例 OO小まつりの反省

Keep (今後も続けること)			Try (今後、試してみたいこと)
たてわり班ごとにお店を出す。	前半・後半で仕事を分担する。	保育園児や幼稚園児を招待する。	○来年も、たてわり班ごとにお店を出す。 ○前半・後半で仕事を分担し、高学年が低学年の面倒を見る。 ○外は使わないようにする。 ○できるだけたくさんのお店に行ってもらえるように、スタンプカードを作る。 ○景品作りは行わず、楽しんでもらえるお店を作る。
高学年が低学年の面倒を見る。			
Problem (問題なのでやめること)			
同じ店に行ってる人がいた。	景品作りが大変だった。	雨が降っていて濡れている人がいた。	